

「コロナ社会を生き抜く行動指針」新旧対照表(令和4年3月18日変更)

新	旧
<p>1 県民の皆さまへ</p> <p>(1) 基本的な感染防止対策</p> <p>① 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)のうち一つでも回避(略)</p> <p>② マスクの着用(略)</p> <p>③ 手指衛生(略)</p> <p>④ 体調不良のときは行動ストップ</p> <p>○ 検温をはじめ、自らの体調確認を心がけ、体調不良の場合は、出勤・通学を含む全ての行動をストップし、医療機関を受診しましょう。</p> <p>○ <u>濃厚接触者となった場合は、以下の県ホームページを参照の上、適切な対応をお願いします。</u></p> <p><u>県ホームページ: https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/183060.html</u></p> <p><u>県トップページ→岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報→お知らせ→県民の皆さまへ→新型コロナウイルス陽性と診断された場合の対応について</u></p> <p>(中略)</p> <p>(2) 外出・移動(略)</p> <p>(3) ワクチンを接種された皆さまへ</p> <p>○ <u>ワクチンの効果は時間の経過に伴い低下することが示唆されています。</u></p> <p>○ <u>追加(3回目)接種により、発症予防効果が回復し、重症化予防効果の持続が期待できますが、ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合</u></p>	<p>1 県民の皆さまへ</p> <p>(1) 基本的な感染防止対策</p> <p>① 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)のうち一つでも回避(略)</p> <p>② マスクの着用(略)</p> <p>③ 手指衛生(略)</p> <p>④ 体調不良のときは行動ストップ</p> <p>○ 検温をはじめ、自らの体調確認を心がけ、体調不良の場合は、出勤・通学を含む全ての行動をストップし、医療機関を受診しましょう。</p> <p>○ <u>同居家族が陽性の場合、濃厚接触者として検査の対象となり、その場合自身の検査の結果が陰性であっても一定期間の自宅待機・健康観察になります。(自宅待機・健康観察期間は最新の情報をご確認いただいた上で、保健所の指示に従って対応してください。)</u></p> <p>(中略)</p> <p>(2) 外出・移動(略)</p> <p>(3) ワクチンを接種された皆さまへ</p> <p>○ <u>ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。</u></p> <p>○ <u>ワクチンを接種してから免疫がつくまでに14日程度かかり、免疫がついても発症予防効果は95%程度と高いものの、決して100%ではありません。</u></p>

<p><u>はあります。</u></p> <p>○ ワクチンを接種した後も決して油断せず、(1)の基本的な感染防止対策の徹底の継続をお願いします。</p> <p>2 事業者の皆さまへ (略)</p> <p>3 イベント等について (略)</p> <p>4 新型コロナ対策実施店舗向けステッカー制度 (略)</p> <p>参考：感染体験談 (略)</p>	<p><u>また、時間の経過に伴い減少する可能性を示唆する報告もあります。</u></p> <p>○ ワクチンを接種した後も決して油断せず、(1)の基本的な感染防止対策の徹底の継続をお願いします。</p> <p>2 事業者の皆さまへ (略)</p> <p>3 イベント等について (略)</p> <p>4 新型コロナ対策実施店舗向けステッカー制度 (略)</p> <p>参考：感染体験談 (略)</p>
--	---

**開催予定日（予定期間）が「緊急事態措置」の実施期間に該当していない
イベントの開催について**

別添資料 1

大声※¹なしのイベント

収容定員設定あり

収容率50%超※²であるが
参加予定人数※³ 5,000人以下
⇒A

収容率50%以下
⇒A ※⁶

収容率50%超かつ
参加予定人数5,000人超
⇒B

収容定員設定なし

参加予定人数5,000人以下
⇒A

参加予定人数5,000人超
⇒B

大声ありのイベント

収容定員設定あり※⁴

収容率50%以下
⇒A

収容率50%超
⇒中止を含め開催を慎重に判断

収容定員設定なし

十分な人と人の間隔 ⇒A
(できるだけ2 m最低1 m)
の維持を徹底
⇒ 徹底ができない場合には
中止を含め開催を慎重に判断

A

イベント主催者等は、予め感染防止対策チェックリスト（様式1）をホームページに公表し、イベント終了後は当該チェックリストを1年間保管すること。なお、問題発生時（クラスター発生、基本的対策の不徹底等）は結果報告（様式3）を県に提出すること。

B

イベント主催者等は、イベント開催の1か月前（遅くとも2週間前）を目処に県に感染防止安全計画（様式2）を提出すること。また、イベント終了後は、結果報告（様式3）を県に提出すること（問題発生時は速やかに提出）。

- ※1 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これに対する対策がなされていないイベントは「大声あり」に該当する。
- ※2 同一グループ内で座席間隔を設けないことにより収容率が50%を超える場合は除く。
- ※3 会場内に同時に滞在する最大の参加者数で算定すること。また、参加者を事前に把握できない場合、イベント主催者等が想定する参加者予定人数で判断すること。
- ※4 参加者の位置が固定できない場合は、十分な人と人との間隔（できるだけ2 m最低1 m）の維持の徹底を図ること。徹底できない場合は、収容率50%超の大声ありイベントに該当するものとする。
- ※5 ワクチン・検査パッケージ制度（対象者全員検査含む）の適用を希望する主催者等は、Aの場合は感染防止対策チェックリスト（様式1）を、Bの場合は当該制度へ登録する旨を明記した感染防止安全計画（様式2）を、それぞれ県に提出することで当該制度に登録が可能となる。
- ※6 まん延防止等重点措置期間内において、参加人数5,000人超となる場合はBの対応が必要となる。

開催予定日（予定期間）が「緊急事態措置」の実施期間に該当している イベントの開催について

別添資料2

大声※1なしのイベント

収容定員設定あり

収容率50%※2以下かつ
参加予定人数※3 5,000人以下 ⇒A

収容率50%超であるが
参加予定人数5,000人以下 ⇒A

参加予定人数5,000人超
ただし人数上限あり★ ⇒B

収容定員設定なし

参加予定人数5,000人以下
⇒A

参加予定人数5,000人超
⇒B
ただし人数上限あり★

大声ありのイベント

収容定員設定あり※4

収容率50%以下かつ
参加予定人数5,000人以下
⇒A

収容率50%超
⇒中止を含め開催を慎重に判断

収容定員設定なし

十分な人と人の間隔
(できるだけ2m最低1m) ⇒A
の維持を徹底

⇒徹底ができない場合には
中止を含め開催を慎重に判断

★人数上限について

原則5,000人まで。ただし、Bの対応により緊急事態宣言期間内は10,000人まで人数上限が緩和される。

A

イベント主催者等は、予め感染防止対策チェックリスト（様式1）をホームページに公表し、イベント終了後は当該チェックリストを1年間保管すること。なお、問題発生時（クラスター発生、基本的対策の不徹底等）は結果報告（様式3）を県に提出すること。

B

イベント主催者等は、イベント開催の1か月前（遅くとも2週間前）を目処に県に感染防止安全計画（様式2）を提出すること。また、イベント終了後は、結果報告（様式3）を県に提出すること（問題発生時は速やかに提出）。

- ※1 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声で、反復・継続的に声を発すること」とし、これに対する対策がなされていないイベントは「大声あり」に該当する。
- ※2 同一グループ内で座席間隔を設けないことにより収容率が50%を超える場合は除く。
- ※3 会場内に同時に滞在する最大の参加者数で算定すること。また、参加者を事前に把握できない場合、イベント主催者等が想定する参加者予定人数で判断すること。
- ※4 参加者の位置が固定できない場合は、十分な人と人の間隔（できるだけ2m最低1m）の維持の徹底を図ること。徹底できない場合は、収容率50%超の大声ありイベントに該当するものとする。
- ※5 ワクチン・検査パッケージ制度（対象者全員検査含む）の適用を希望する主催者等は、Aの場合は感染防止対策チェックリスト（様式1）を、Bの場合は当該制度へ登録する旨を明記した感染防止安全計画（様式2）を、それぞれ県に提出することで当該制度に登録が可能となる。

開催予定日（予定期間）が「まん延防止等重点措置」又は「緊急事態措置」の
実施期間に該当していないイベントの開催について **別添資料 1**

大声※ ¹ なしのイベント	
収容定員設定あり	収容定員設定なし
収容率50%超※ ² であるが 参加予定人数※ ³ 5,000人以下 ⇒A	参加予定人数5,000人以下 ⇒A
収容率50%以下 ⇒A	参加予定人数5,000人超 ⇒B
収容率50%超かつ 参加予定人数5,000人超 ⇒B	
大声ありのイベント	
収容定員設定あり※ ⁴	
収容率50%以下 ⇒A	
収容率50%超 ⇒中止を含め開催を慎重に判断	
収容定員設定なし	
十分な人と人の間隔 ⇒A (できるだけ2 m最低1 m) の維持を徹底 ⇒徹底ができない場合には 中止を含め開催を慎重に判断	
A	イベント主催者等は、予め感染防止対策チェックリスト（様式1）をホームページに公表し、イベント終了後は当該チェックリストを1年間保管すること。なお、問題発生時（クラスター発生、基本的対策の不徹底等）は結果報告（様式3）を県に提出すること。
B	イベント主催者等は、イベント開催の1か月前（遅くとも2週間前）を目処に県に感染防止安全計画（様式2）を提出すること。また、イベント終了後は、結果報告（様式3）を県に提出すること（問題発生時は速やかに提出）。

- ※1 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声で、反復・継続的に声を発すること」とし、これに対する対策がなされていないイベントは「大声あり」に該当する。
- ※2 同一グループ内で座席間隔を設けないことにより収容率が50%を超える場合は除く。
- ※3 会場内に同時に滞在する最大の参加者数で算定すること。また、参加者を事前に把握できない場合、イベント主催者等が想定する参加者予定人数で判断すること。
- ※4 参加者の位置が固定できない場合は、十分な人と人の間隔（できるだけ2 m最低1 m）の維持の徹底を図ること。徹底できない場合は、収容率50%超の大声ありイベントに該当するものとする。
- ※5 ワクチン・検査パッケージ制度の適用を希望する主催者等は、Aの場合は感染防止対策チェックリスト（様式1）を、Bの場合は当該制度へ登録する旨を明記した感染防止安全計画（様式2）を、それぞれ県に提出することで当該制度に登録が可能となる。

開催予定日（予定期間）が「まん延防止等重点措置」又は「緊急事態措置」の実施期間に該当しているイベントの開催について

別添資料2

大声※¹なしのイベント

収容定員設定あり

収容率50%※²以下かつ
参加予定人数※³5,000人以下 ⇒ **A**

収容率50%超であるが
参加予定人数5,000人以下 ⇒ **A**

参加予定人数5,000人超
ただし人数上限あり★ ⇒ **B**

収容定員設定なし

参加予定人数5,000人以下
⇒ **A**

参加予定人数5,000人超
⇒ **B**
ただし人数上限あり★

大声ありのイベント

収容定員設定あり※⁴

収容率50%以下かつ
参加予定人数5,000人以下
⇒ **A**

収容率50%超
⇒ 中止を含め開催を慎重に判断

収容定員設定なし

十分な人と人の間隔
(できるだけ2 m最低1 m) ⇒ **A**
の維持を徹底
⇒ 徹底ができない場合には
中止を含め開催を慎重に判断

★人数上限について

原則5,000人まで。ただし、**B**の対応により重点措置期間内は20,000人まで、緊急事態宣言期間内は10,000人まで人数上限が緩和される。さらに、ワクチン・検査パッケージ制度の適用により、収容定員まで追加可。

A

イベント主催者等は、予め感染防止対策チェックリスト（様式1）をホームページに公表し、イベント終了後は当該チェックリストを1年間保管すること。なお、問題発生時（クラスター発生、基本的対策の不徹底等）は結果報告（様式3）を県に提出すること。

B

イベント主催者等は、イベント開催の1か月前（遅くとも2週間前）を目処に県に感染防止安全計画（様式2）を提出すること。また、イベント終了後は、結果報告（様式3）を県に提出すること（問題発生時は速やかに提出）。

※1 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これに対する対策がなされていないイベントは「大声あり」に該当する。

※2 同一グループ内で座席間隔を設けないことにより収容率が50%を超える場合は除く。

※3 会場内に同時に滞在する最大の参加者数で算定すること。また、参加者を事前に把握できない場合、イベント主催者等が想定する参加者予定人数で判断すること。

※4 参加者の位置が固定できない場合は、十分な人と人の間隔（できるだけ2 m最低1 m）の維持の徹底を図ること。徹底できない場合は、収容率50%超の大声ありイベントに該当するものとする。

※5 ワクチン・検査パッケージ制度の適用を希望する主催者等は、**A**の場合は感染防止対策チェックリスト（様式1）を、**B**の場合は当該制度へ登録する旨を明記した感染防止安全計画（様式2）を、それぞれ県に提出することで当該制度に登録が可能となる。